

平成27年度 指定管理者年度総合評価表

(平成27年4月～平成28年3月実施分)

作成日	平成28年 6月 8日
-----	-------------

■指定管理者概要

施設名	八戸市運動公園体育施設（長根公園及び有料公園施設ほか10施設）		
所在地	八戸市大字売市字奥遊下3番地ほか		
施設概要	長根公園	長根公園及び有料公園施設、八戸市体育館、八戸市スポーツ研修センター、八戸市武道館	売市字奥遊下3番地ほか
	新井田公園	新井田公園及び有料公園施設、新井田インドアリンク	新井田西四丁目1-1
	東運動公園	東運動公園及び有料公園施設、八戸市東体育館	湊高台八丁目1-1
	屋内トレーニングセンター	—	河原木字谷地田4番地
	南部山健康運動公園	南部山健康運動公園、八戸市南部山健康運動センター	河原木字蝦夷館3番地6
指定管理者	名称	エスプロモ株式会社	
	代表者	代表取締役 坂頂 昭治	
	所在地	青森県八戸市大字湊町字大沢28番地133	
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日		
指定管理者の業務	使用許可、施設設備の維持管理、その他		
市所管課 (問合せ先)	まちづくり文化スポーツ観光部 スポーツ振興課 スポーツ振興グループ		
	電話	0178-43-9159（直通）	
	E-mail	sportsshinkou@city.hachinohe.aomori.jp	

■指定管理者による自己評価

評価	<p>通算7年目の運営は、継続してきたサービス向上策や自主事業の成果で、利用料収入が3期連続で過去最高となりました。自主事業スポーツイベントでは、長根イルミナが特に好評で8,200人もの来場があり、施設活性化と市のスポーツ振興に貢献できたと考えています。</p> <p>また、トレーニング室利用者は大幅に増加していて、サービス向上策の成果が出ていると思います。</p> <p>定着したプロスポーツの会場運営についても、施設整備と協力体制に高い評価をいただき、地元チームの活躍を支えられたと思います。</p> <p>経費面では電気料値上げの影響や稼働率向上と利用者増によるコスト上昇がありましたが、一括管理のスケールメリットと設備運転の工夫によって収支計画は達成できており、これまで同様に良好な管理運営を遂行できました。</p>
今後の目標	<p>管理する施設では多くの設備・機器が更新期を迎えていますが、市担当課と協力しながら適切に対処して、施設稼働率を低下させることなく利用者のニーズに応え、施設効用の最大発揮に努めます。</p> <p>また、電気料金ほかの物価上昇など、施設管理経費は増加傾向にありますが、ノウハウを駆使して効果的な施設管理を図りながら、拡大してきた施設利用数の維持に努めて参ります。</p>

■市（所管課）の総合評価

評価	<p>長年にわたる管理実績や経験、ノウハウ等を活かし、施設の適正な維持管理、利用促進及びサービスが継続的かつ安定的に実行されており、総合的に見て良好な管理運営が行われていたと評価できる。</p> <p>施設管理では、こまめな点検により施設の状態を的確に把握し、必要な保守や修繕を行っていた。また、自社で対応できる保守・修繕の範囲が広く、経費の削減や良好な利用環境の維持に寄与していた。</p> <p>運営面では、利用者のニーズに合わせた自主事業を開催して利用率の向上や来館者の増加を図ったほか、施設を使用した各種イベント等の開催に協力するなど、地域貢献にも積極的である。</p>
指摘事項	特になし。

[評価：◎非常に良い、○良い、△やや悪い、×悪い、—評価不能]

■管理運営状況に係る個別評価

1 管理状況		
指標	評価	評価に対する説明
開館時間、休館日の運用	◎	業務基準書に示された内容と比べ、利用者の要望に合わせて開場時間を延長するなど、市民サービスの向上に努めていた。
法令の遵守	○	関係法令を遵守していると認められた。
適正な人員配置	○	管理運営に必要な人員及び資格者を適正に配置していた。 ・繁忙期や作業内容に応じて、施設間で人員を調整するなど効率的な人員配置をしていた。
従事者の労働環境確保	○	労働関係法令が遵守されていた。
障がい者の雇用状況 ※募集時に提案していた場合(選定時加点)	○	提案内容のとおり雇用していた。
協働のまちづくりへの協力 ※募集時に提案していた場合(選定時加点)	○	提案内容と同水準の地域貢献活動が行われていた。 ・公園で行われる町内会等の祭りやスポーツ施設でのイベント等の実施に協力していた。
従事者の教育・研修	◎	従事者の教育や研修が非常に良く行われていた。 ・専門業者による人事研修やプライバシーマーク研修、最新応急処置法情報の研修など、必要な教育、研修が実施されていた。
緊急事態への対応	◎	事故、災害等の緊急事態への対応(準備)が非常によく出来ていた。 ・緊急時の対応マニュアルの見直しや訓練を実施していた。
文書の管理保存	△	作成・受領した文書は適切に管理されていたが、文書取扱規程の整備が不十分であった。 ・文書は会社法、税法、プライバシーマーク制度により適切に処理されていたが、市(所管課)の認識、周知不足により、明文化した独自規程が整備されていなかった。(指摘後、速やかに作成された。)
報告書等の提出	○	事業計画、月例報告書、事業報告書、その他報告等が適切に提出されていた。
利用料金の取扱い ※承認料金制の場合	○	利用料金について、各種媒体を使い確実に周知されていた。

利用料金の減免	○	減免手続きが適切に行われていた。 ・市で示した基準等や公共性も考慮した公平な取扱いがなされた。
口座管理、経理の区分	○	指定管理業務に関する収支は専用口座で管理し、経理区分も整理されていた。
通帳、印鑑の管理	○	通帳と印鑑の管理が適切であった。 ・通帳と印鑑は別の社員が管理していた。
管理物件に対する損害賠償、第三者への賠償	—	事例なし。
指定管理開始前における準備	—	21年度から25年度、26年度から30年度と継続して指定管理者の指定を受けているので、対応なし。
管理終了後における引継ぎ	—	21年度から25年度、26年度から30年度と継続して指定管理者の指定を受けているので、引継ぎなし。
重要事項の変更の届出	—	届出の必要な事例なし。
施設の使用許可及び条件	○	施設使用許可が施設設置条例に基づき適切に行われていた。(使用制限、使用条件の変更、入場拒否はなかった。)
施設、設備の保守管理	△	委託契約手続に一部不備等があったが、点検や修繕等は適切に行われていた。 ・施設等の状況を的確に把握し、適切に保守管理していた。 ・修繕について、自社で修繕するなど経費削減に努め、修繕料の効率的活用を最大限に行っていた。 ・契約事務に一部不備な点があったが、速やかに是正した。
備品の管理	○	備品の管理(点検や修繕等)が適切に行われていた。 ・点検等により状態を把握し、修繕等が必要な場合は処置を施し、適切な管理を行った。
清掃業務、警備業務、その他必要な管理業務	○	清掃業務、警備業務、その他必要な管理業務が適切に行われていた。 ・清掃業務、警備業務については外部業者に委託し、現場確認等により実施状況を確認した。

2 運営状況

指標	評価	評価に対する説明
利用状況	○	屋内スケート場建設による施設減や八戸市体育館の耐震診断実施による利用制限により平成26年度と比べて施設利用者数は減少したが、当初の目標人数は達成した。 26年度 利用者数 1,283,184人 27年度 利用者数 1,224,742人 (目標数 1,100,000人)
自主事業	◎	自主事業を多数実施し、施設の活用に効果があった。 ・スポーツ教室 計38教室開催 参加のべ人数 16,592人 ・八戸ちびっこマラソン 1,297人 ・南部山ウォーク 478人 ・Prince Ice World in Hachinohe 4,900人 ・長根☆イルミナ 8,210人
その他の取組 (運営に関する工夫)	◎	自主的な取組を行った結果、サービスの向上に大きな効果があった。 ・公共スポーツ施設指定管理者としては全国でも稀なプライバシーマークの認定更新による個人情報保護体制の確立。 ・LED外灯等への更新による省エネ化を行った。

3 収支状況

指定管理業務の収支状況	○	収支計画を達成し、黒字であった。				
		(単位：円)				
			項目	収支計画	収支実績	前年度実績
		収入 ①	利用料金	128,000,000	151,834,102	144,582,680
			指定管理料	469,443,000	469,443,000	469,443,000
			雑収入	550,000	810,178	670,806
			修繕料繰越金	0	0	0
			計	597,993,000	622,087,280	614,696,486
		支出 ②	人件費	227,260,000	229,934,328	227,914,679
			維持管理経費	345,559,000	310,251,251	328,193,824
事業費・一般事務費	7,102,000		6,349,031	5,268,635		
租税	18,072,000		35,815,200	24,925,400		
	計	597,993,000	582,349,810	586,302,538		
	次年度修繕料繰越金③	0	7,209	0		
	収入－支出(①－②－③)	0	39,730,261	28,393,948		
自主事業の収支状況	○	収支計画を達成し、黒字であった。 収入 57,670,992 円 (内訳) 自販機設置事業収入 9,414,878 円 スポーツ振興事業収入 48,080,474 円 その他収入 175,640 円 支出 57,245,047 円 (内訳) 開催経費 56,608,382 円 その他経費 636,665 円				

4 運営に係る体制整備状況等の状況

指標	評価	評価に対する説明
利用者満足度の把握	○	利用者アンケート調査及びその結果を活かす仕組みが出来ていた。 ・年2回利用者アンケートを実施し、満足度の平均は約77%だった。
施設概要(利用方法)の周知	○	施設概要や利用方法等をホームページ等で積極的に周知していた。 ・ホームページや新聞タブロイド版、ラジオを活用し、施設の情報を積極的に周知していた。
苦情・要望等の受付体制	○	苦情・要望等の受付体制を明示し、周知していた。 ・施設内に苦情・要望を徴するためのアンケート用紙及び箱を設置している。
苦情・要望等への対応	—	苦情・要望等が無かった。
個人情報の保護	○	個人情報保護の規程が整備され、遵守されていた。(運用実績なし)
情報公開	○	情報公開の規程が整備され、遵守されていた。(運用実績なし)
秘密保持義務	◎	秘密保持義務が守られ、従業員に随時注意を促すなど、適切に対応されていた。 ・外部機関による指導のもと、情報の取扱いを適切に行う体制等を整備している。
環境への配慮	○	環境に配慮した省エネルギーへの取組、リサイクルの推進等の対応を適切に行っていた。 ・積極的に節電節水に取り組み、エネルギー節減に努めた。

■他の事業評価実施状況

1 セルフモニタリング				
自主点検状況	実施状況			
	<ul style="list-style-type: none"> 各館事務室付近に設置する「ご意見箱」による要望・意見の収集及び対応。 スポーツ教室参加者への「アンケート調査」集計及び事業実施計画へのフィードバック。 スタッフによる利用者への直接聞き取り及び業務改善。 ホームページでの問い合わせ及びご意見収集。 年2回の利用満足度調査実施。 専門業者による現状評価並びにスタッフ（新人）研修等。 			
2 定期モニタリング				
定期報告状況	実施状況			
	毎月の利用状況報告、年1回の事業実績報告及び年間事業計画が遅滞なく提出され、内容も適切であった。			
3 随時モニタリング				
実地調査状況	実施回数	実施日	実施者	実施内容
	48回	毎月1回	GL・担当	東運動公園にて使用許可や利用料徴収状況・施設の管理状況等を確認。
		2ヶ月に1回	GL・担当	南部山健康運動センターにて使用許可や利用料徴収状況・施設の管理状況等を確認。
		2ヶ月に1回	GL・担当	屋内トレーニングセンターにて使用許可や利用料徴収状況・施設の管理状況等を確認。
		毎月1回	GL・担当	長根公園にて使用許可や利用料徴収状況・施設の管理状況等を確認。
		毎月1回	GL・担当	新井田公園にて使用許可や利用料徴収状況・施設の管理状況等を確認。
実施結果				
良好な管理運営が行われていた。				

※GL：グループリーダー